

## 財務委員会

担当理事：芳野純治

委員：斎藤 博、森山光彦、依田芳起

委員会開催：2回

### 1. 2015年度財務諸表の確認と審議

2015年度決算による財務諸表の確認と審議を行い、資産減少により理事会に収入増の対策検討を促すこととした。

### 2. 2017年度予算

本部の予算、7支部予算の審議

#### 1) 本部

○事業活動収入について

- ・正会員は昨年水準、一般会員は増加傾向にあり会費収入は約6千万円を見込んでいる。
- ・認定手数料は該当者数減少により減収を見込み、技師研修会は参加者数を増やし増収を見込んでいる。
- ・学術集会収入では、参加費増を見込み、展示・広告・寄付金はそれぞれ減収を見込んでいる。

以上の結果、事業活動収入はほぼ昨年水準を見込んでいる。

○事業活動支出について

- ・臨時雇用賃金は学術集会において減少を見込んでいる。
- ・通信運搬費の大幅な削減の要因は全国集計Web化による調査票送付不要による。
- ・広報費は用語集改訂版作成により支出増を見込んでいる。
- ・総会では、会場費は支出増となり運営費は減少を見込んでいる。
- ・全国集計Web化・会計用パソコン購入・認定技師関連など運営のため積立資産は960万円の取り崩しを見込んでいる。

以上の結果、事業・管理費支出計は約9千900万円を見込んでいる。

- ・大会補助金は2018年度より20万円とした。

#### 2) 支部

○収入について

- ・支部運営経費は会員数による本部からの補助金が主収入ですが、関東甲信越支部では賛助会費を、九州支部では通信費をそれぞれ支部において徴収している。
- ・本部からの地方会補助金は支部資産増により一律20万円とした。補助金は今後の支部活動の動向を見て再検討課題とする。

○支出について

支出は地方会、各種研修会の運営に伴う使途が主体であり、概ね昨年度実績を参考に計上されている。

### 3. 全体の収支について

法人全体では、正味財産期末残高は約1億3千万円余りとなり、前年度比で約1千300万円余りの減少を見込む。

### 4. 会計マニュアルについて

総会・大会・支部・地方会・各種研修会における会計マニュアルを一部改訂した。

### 5. 年会費振込手数料は滞納者に限り本人負担とする。